

施策分析シート（令和8年度）

No1

施策名	魅力あふれる個店づくり			施策No	05-05	部課名	産業経済部産業振興課		
関連部課名						課長名	山下	内線	445
行政評価事業体系	分野	Ⅲ	産業革新都市						
	政策	05	活力ある地域経済づくり						

目的	来街者が何度でも訪れたい魅力ある店舗を生み出すための支援を充実するとともに、意欲のある個店同士が連携し、技術と知恵を結集させることのできる仕組みづくりを支援する。								
----	---	--	--	--	--	--	--	--	--

指標	幸福実感指標名		指標の推移			指標に関する質問文			
			5年度	6年度	7年度				
	①	まちの産業	2.60	2.67	2.71	荒川区の企業（お店や町工場など）は元気で活力があると思いますか？			
	②								
	③								
	④								
指標	施策の成果とする指標名		指標の推移					指標に関する説明	
			5年度	6年度	7年度	8年度見込み	目標値(8年度)		
	①	街なか商店塾参加店舗数（店）	33	29	32	40	80		
	②	魅力あふれる個店づくり事業メールマガジン登録数（件）	86	84	90	93	500	魅力あふれる個店づくり事業の会員及びメルマガ会員の合計数	
	③								
	④								
	⑤								

（単位：千円）

行政コスト計算書	勘定科目		6年度	7年度	差額	行政収入	勘定科目		6年度	7年度	差額
	給与関係費		1,954	2,126	172		地方税等		0	0	0
	物件費		3,461	3,625	164	行政収入	国庫支出金		0	0	0
	維持補修費		0	0	0		都支出金		1,499	20,522	19,023
	扶助費		0	0	0		分担金及び負担金		0	0	0
	補助費等		809	45,287	44,478		使用料及び手数料		0	0	0
	減価償却費		0	0	0		その他		0	0	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額		0	0	0		行政収入合計(a)		1,499	20,522	19,023
	賞与・退職給与引当金繰入額		265	524	259		行政収支差額(a)-(b)=(c)		▲ 4,990	▲ 31,040	▲ 26,050
	その他行政費用		0	0	0		金融収支差額(d)		0	0	0
	行政費用合計(b)		6,489	51,562	45,073		通常収支差額(c)+(d)=(e)		▲ 4,990	▲ 31,040	▲ 26,050
	特別費用(g)		0	0	0		特別収入(f)		0	0	0
	特別収支差額(f)-(g)=(h)		0	0	0		当期収支差額(e)+(h)		▲ 4,990	▲ 31,040	▲ 26,050
貸借対照表	勘定科目		6年度	7年度	差額	流動負債	勘定科目		6年度	7年度	差額
	収入未済		0	0	0		還付未済金		0	0	0
	不納欠損引当金		0	0	0	流動負債	特別区債		0	0	0
	その他の流動資産		0	0	0		賞与引当金		87	93	6
	有形固定資産		0	0	0		その他の流動負債		0	0	0
	土地		0	0	0		固定負債		919	1,207	288
	建物		0	0	0		特別区債		0	0	0
	建物減価償却累計額		0	0	0		退職給与引当金		919	1,207	288
	工作物等		0	0	0		その他の固定負債		0	0	0
	工作物等減価償却累計額		0	0	0		負債の部合計		1,006	1,300	294
	無形固定資産		0	0	0		正味財産		▲ 1,006	▲ 1,300	▲ 294
	建設仮勘定		0	0	0		正味財産の部合計		▲ 1,006	▲ 1,300	▲ 294
	その他の固定資産		0	0	0		負債及び正味財産の部合計		0	0	0
	資産の部合計		0	0	0						

財務諸表に関する特徴的事項等

- 行政費用として補助費等の割合が高くなっている。補助費等は事業者の設備投資を支援する補助金が大半を占めており、令和7年度に開始した「商業・サービス業事業継続力強化支援事業」の申請実績の増加に伴い、補助費等も増額している。
- 行政収入「都支出金」は地域産業活力創出支援事業計画事業費補助金であり、行政費用と同様に「商業・サービス業事業継続力強化支援事業」の申請実績の増加に伴い、都支出金も増額している。

施策の現状・課題・今後の方向性

現状	○令和3年の家計消費状況調査によると、ネットショッピングを利用した世帯の割合は、過去10年間で32.8ポイント増加する等、消費者の購買行動は大きく変化している。 ○こうした中、区では地域に密着した商店街ならではの個店に着目し、その魅力と存在価値を高めるため、「街なか商店塾」等を推進し、こだわりの店の発掘やPRを進めている。 ○平成29年度からは、「魅力あふれる個店づくり事業」を開始し、意欲のある個店の支援、個店同士の連携構築、新たなアイデアや取組に対する支援等を実施した。 ○令和4年度からは、「商業・サービス業活力創出支援事業」を開始し、社会構造の変革又は市場環境の変化に対応するために行う販売活動等に必要である設備、備品又はITツールの導入の補助をした。 ○令和5年度からは、「GX経営推進支援事業」を開始し、競争力強化及びコスト低減につながる設備等を設置する際の補助をする。これらにより魅力あふれる個店づくりをより一層推進した。 ○令和6年度からは「商業・サービス業活力創出支援事業」及び「GX経営推進支援事業」の補助対象事業者の区内の事業継続年数の要件を5年から3年へ、令和7年度からは3年から1年へ（令和7年度からは「商業・サービス業事業継続力強化支援事業」として実施）と変更した。
課題	○商店街の客足が減少傾向にある中、多くの個店では、顧客との会話を通じて消費者の購買意欲を引き出すことのできる、商店街ならではの優位性を活かしきれていない。その隠れた魅力を掘り起こすための支援が必要である。 ○個店が単独で、情報の収集や事業のPR等の取組を行うことは限界があるため、個店同士が互いに連携・協力し、相乗効果を上げるネットワーク構築が必要である。 ○店舗や設備の老朽化が進んでいる個店が多く存在しており、個店の魅力向上や集客力向上につながる設備更新をより一層促していくことが課題である。 ○昨今の原油、物価等の高騰の影響で、多くの個店が厳しい経営状況に置かれている。
今後の方向性	○意欲ある個店への継続的な支援として、「魅力あふれる個店づくり事業」や「街なか商店塾」をより一層推進し、個店の魅力向上に取り組む。 ○魅力あふれる個店の発掘を進めるとともに、個店の魅力の一層の向上を図るため、専門的な知識を持ったコーディネータによるアドバイス、ノウハウの提供等の支援を充実させる。 ○「魅力あふれる個店づくり事業」では、魅力ある個店同士が、商店街の枠を越えて新たな連携構築を進めることのできる環境を整備するとともに、他業種との連携を強化する仕組みづくりを支援している。今後は、個店同士が主体的に情報交換や相互の支援等を行える機会を充実させる等、新たなアイデアや取組の創出につながる支援を展開していく。 ○「商業・サービス業事業継続力強化支援事業」及び「GX経営推進支援事業」を引き続き実施し、老朽化した店舗の改修やコスト低減につながる設備の導入等を促進する。

施策の分類		分類についての説明・意見等
8年度	9年度	
重点的に推進	重点的に推進	意欲ある個店を積極的に支援し、個店の魅力を高めることは、区内商店街及び地域の活性化に繋がるため、重点的に推進する。

施策を構成する事務事業の分類								
事務事業名	事務事業 No	行政費用（千円）		決算額（千円）		施策推進のための 分類		分類についての説明・意見等
		6年度	7年度	6年度	7年度	8年度	9年度	
魅力あふれる個店づくり事業	06-01-11	1,737	2,097	1,270	1,538	重点的 に推進	重点的 に推進	商店街や地域の活性化を図るためには、意欲のある個店の支援、個店同士の連携構築、新たな取組の実現に向けた支援を通じ、魅力ある個店を育成することが非常に重要であるため、重点的に推進する。
街なか商店塾事業	06-01-21	3,117	3,140	3,000	3,000	重点的 に推進	重点的 に推進	個店支援の中心事業であるため、重点的に推進する。
商業振興功労賞表彰事業	06-01-27	1,635	1,953	0	0	休止・ 完了	休止・ 完了	区功労表彰の活動賞と類似するものであることから、令和7年度末に事業完了した。
商業・サービス業事業継続力 強化支援事業	06-01-48	0	44,373	—	44,373	重点的 に推進	重点的 に推進	意欲ある個店を積極的に支援し、個店の魅力を高めることは、区内商店街及び地域の活性化に繋がるため、重点的に推進する。
合 計		6,489	51,563	4,270	48,911			